

②既に目標決定及び達成状況届出書を提出している事業者

様式第23号の15(第50条の12関係)

化学物質管理目標決定及び達成状況届出書

〇〇年〇月〇日

〇〇〇〇 様

届出先の行政の長を記入

- ①事業所が所在する市町村の長
大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、貝塚市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、箕面市、東大阪市、大阪狭山市、阪南市、豊能町、能勢町、太子町、河南町、千早赤阪村の事業所
- ②泉大津市長：泉大津市、忠岡町の事業所
- ③大阪府知事：上記以外の市町の事業所

届出時点における住所、法人名、代表者の役職・氏名を各記入欄に記入

※押印不要

住所 〇〇市〇〇町〇-〇
氏名 大阪産業株式会社
代表取締役社長 大阪 太郎
代理人 大阪第一工場 工場長 〇〇 〇〇

代理人が届出を行う場合は、代表者名と代理人名を併記

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

大阪府生活環境の保全等に関する条例第81条の25第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

事業所の名称	大阪第一工場	届出日における事業所の名称、所在地を記入
事業所の所在地	〇〇市△△町〇-〇	取り扱っている管理化学物質の中から環境リスクを考慮して物質を選定 ※詳細は説明1 (p4-2) 参照
管理化学物質の種類	条例1:VOC(揮発性有機化合物)	<input type="checkbox"/> 排出量の削減 <input type="checkbox"/> 移動量の削減 <input type="checkbox"/> 取扱量の削減 <input type="checkbox"/> 有害性の低い物質への代替 <input type="checkbox"/> 設備の安全化の対策 <input type="checkbox"/> マネジメントシステムの改善 <input type="checkbox"/> リスクコミュニケーションの推進 <input type="checkbox"/> その他の方法
管理の改善の方法		p4-5記載の項目から選択 ※選択項目に該当するものがない場合は、24その他とし、その内容を4段目に記入
化学物質管理目標	1:上記管理化学物質の大気への排出量の削減量	
指標とする項目	上記管理化学物質の大気への排出量を基準年度より削減	1000 kg
指標とする項目に係る目標	削減量が定量化できる場合には、基準年度からの削減量(削減割合)を記入 ※詳細は説明3 (p4-3) 参照	単位を記入
改善率	14.3 %の改善 ()	2022 年度比)
目標達成年度	2027年度	
目標決定に当たった考え	リスク評価の結果、使用量が最も多いVOCの環境リスクが高いことから、VOCを管理目標の対象物質として設定した。指標とする項目に関する削減量については、技術面・費用対効果を検討したうえで実施する対策を決定し、その削減見込量とした。	

化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画	<p style="text-align: center;">別紙のとおり</p>										
化学物質管理目標を達成するために実施した対策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 塗装設備の使用の合理化(適切な塗装ガンの選択、ホース長の見直し等)を実施した。(2023年度) 引き続き上記対策を実施するとともに、塗装・洗浄時の手順を手順書に取りまとめ、これを使用して研修を実施し、作業者の技術の向上を図った。(2024年度) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 化学物質管理目標を達成するために実施した対策の内容を記入(別紙の計画に記載した具体的方策など) 目標を達成するために取り組む期間(1サイクル間)にあつては、届出前年度の実績を前回届出内容に追記する形で記入 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 点線での囲みの部分は目標として決定した事項の達成状況を記入 </div>										
化学物質管理目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度実績でVOCの大気への排出量は7,000kg/年。 2023年度実績でVOCの大気への排出量は6,800kg/年。基準年度から200kg削減、改善率2.9%。 2024年度実績でVOCの大気への排出量は6,700kg/年。基準年度から300kg削減、改善率4.3%。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 1サイクル間にあつては、届出前年度末の達成状況を前回届出内容に追記する形で記入 ※詳細は説明6(p4-4)参照 </div>										
化学物質管理目標を達成するために実施した対策の検証の結果	<p>塗装設備の合理化目標を達成することができた。また、作業者を含む従業員に対して化学物質の管理改善に向けた研修の開催、生産量当たりの塗料・溶剤の使用量を周知するポスターを掲示板への貼付などの取組を行ったことで、会社全体の目標達成志向の向上につながったと考えられる。(2024年度)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 進捗状況に対する検証(見解)を記入 ※詳細は説明6(p4-4)参照 </div>										
化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画の変更をしたときは変更した事項	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 上欄の目標達成のために実施した対策の検証の結果に基づき、具体的方策(別紙)に内容を変更した場合は、変更した事項を記載 </div>										
本届出について生産技術上・営業上の秘密に係る情報の有無	<div style="display: flex; align-items: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 無 <div style="margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">該当する欄に「〇」を記入</div> </div> <input type="checkbox"/> 有(秘密とする内容を記載した書類を添付してください。) </div>										
担当者(問い合わせ先)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">部署名</td> <td>〇〇部〇〇課</td> </tr> <tr> <td>(ふりがな)</td> <td>〇〇〇〇 〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>〇〇 〇〇</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td>〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>電子メールアドレス</td> <td>〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; width: fit-content;">p5-1参照</div>	部署名	〇〇部〇〇課	(ふりがな)	〇〇〇〇 〇〇〇	氏名	〇〇 〇〇	電話番号	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	電子メールアドレス	〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇
部署名	〇〇部〇〇課										
(ふりがな)	〇〇〇〇 〇〇〇										
氏名	〇〇 〇〇										
電話番号	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇										
電子メールアドレス	〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇										
※受付欄											

備考 ※印の欄には、記載しないこと。

○別紙の記入例（既に目標決定及び達成状況届出書を提出している事業者）
 ※計画の内容を変更していない場合、別紙は初回届出時のまま、特に追記等は不要です。

別紙 化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画

年 度	2022 年度 (基準年度)	2023 年度 (計画初年度)	年度 (届出の前年度)	2025 年度 (中間目標年度)	2027 年度 (目標年度)
	計画の基準年度を記入	計画を初めて提出する年度を記入		計画の中間目標年度を記入	計画の目標年度を記入
	<p>具体的方策は事業所の実態を踏まえ、最も費用対効果の高い対策の組み合わせを決定して記入してください。（以下、記載例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有害性の低い物質へ代替するための技術開発、設備の整備 ○工程改善、設備改善等の使用の合理化による取扱量の削減 ○処理装置、回収装置の設置や改善による排出抑制 ○作業要領の遵守徹底、維持管理の適正化等の対策による、取扱量の削減及び排出抑制 ○モニタリングによる監視（排ガス、排水、敷地境界濃度等）の強化 ○リスクコミュニケーションの実施（住民説明会の実施） ○その他の改善対策（具体的に記入） 				
具体的方策		<ul style="list-style-type: none"> ○塗料・溶剤の使用量を定期的に把握する。 ○塗装設備の使用の合理化（適切な塗装ガンの選択、ホース長の見直し等）を検討・実施する。 ○塗装・洗浄時の手順を手順書にまとめ、手順書を用いた研修を実施することで、作業者の技術の向上を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> ○第一塗装ラインの乾燥施設に排ガス処理設備（触媒燃焼装置）の設置を検討する。 ○塗料・溶剤の使用量を定期的に把握する。 ○塗装設備の使用の合理化（適切な塗装ガンの選択、ホース長の見直し等）を検討・実施する。 ○手順書を用いた研修を実施することで、作業者の技術の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第一塗装ラインの乾燥施設に排ガス処理設備（触媒燃焼装置）の設置を検討する。 ○塗料・溶剤の使用量を定期的に把握する。 ○塗装設備の使用の合理化（適切な塗装ガンの選択、ホース長の見直し等）を検討・実施する。 ○手順書を用いた研修を実施することで、作業者の技術の向上を図る。
指標とする項目	【実績値】 大気への排出量 7,000kg/年	【計画値】 大気への排出量 6,800kg/年 基準年度から 200kg削減	-	【中間目標値】 大気への排出量 6,400kg/年 基準年度から 600kg削減	【目標値】 大気への排出量 6,000kg/年 基準年度から 1,000kg削減
改善率	_____	2.9 %	%	8.6 %	14.3 %

備考 1 改善率は、指標とする項目を数値化できる場合に記入する。

2 改善率は、次に示す例により計算して記入する。

例 指標とする項目が「化学物質の排出量」の場合 $[(\text{基準年度の排出量} - \text{当該年度の排出量}) / \text{基準年度の排出量}] \times 100\%$